

『三重県産材』 ～三重の豊かな森林から生み出される良質な木材～

三重の地は温暖な気候と豊富な降水量に恵まれ、古くからスギ、ヒノキを中心とした造林が進み豊かな森林が育まれてきました。三重で生産される木材は、高い密度で植栽し、間伐を繰り返すことにより、通直で年輪幅が細かく、強度もあって光沢にも富んでいます。

■三重県産スギ

三重県産スギは主に建築の構造材、内装材、建具等に使用されます。特に、色・艶・香りなどといった独特の良さを生かした現しの構造材、やわらかさや温かさ、高い調湿機能を生かした内装材として高く評価されています。また、近年では独特の風合いを生かし、家具製作の現場等でも利用が拡大しています。



■三重県産ヒノキ

三重県産ヒノキは、美しい光沢や特有の芳香を有するとともに、耐朽性が高く強度的にも優れた木材です。三重県内にはよく手入れされたヒノキ林が多く、そこから生産される木材は、構造材や内装材として高く評価されています。また、表面の美しさや香りの良さ等から家具や様々な小物の材料としても重宝されています。



◇首脳会議用円卓(テーブル)に、尾鷲地域の FSC 認証森林から生産される「尾鷲ヒノキ」を使用していただけよう、地元では素材(尾鷲ヒノキの木材)を提供する準備を進めています。

※尾鷲地域

尾鷲地域は三重県南部の尾鷲市・紀北町にまたがる地域で、全国的にも有名なヒノキの産地となっています。この地域から生産される「尾鷲ヒノキ」は、急峻な地形とやせた土壌という木が生育するには非常に厳しい条件の中、ゆっくりと長い年月をかけて育っています。このため、年輪が緻密で、油分が多く光沢があり、耐朽性にも優れているとして、高い評価と信頼を得ています。

※FSC 認証森林

尾鷲市・紀北町には、約 2000ha の FSC 認証森林があります。